

## 使用上の注意

### ➤ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせて使用してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことについて注意してください。
  1. ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  2. 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園などでは使用をさけてください。
  3. 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので、以下のことについて注意してください。
  1. マルハナバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  2. マルハナバチを放飼中の施設では、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、病害虫防除機関の指導を受けることが望ましいです。
- ナメクジ類には食害防止を目的として使用してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
  1. 敷設は散布機種の散布基準に従って実施してください。
  2. 敷設に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  3. 敷設中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  4. 敷設液が池、河川などに入らないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかかるよう注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### ➤ 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は保護眼鏡、防護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ってください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

### ➤ 環境保護上の注意

- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### ➤ 貯蔵上の注意

- 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない鍵のかかる低温な場所に密栓して保管してください。

※使用する際は、製品に記載されている説明書（ラベル）を必ずよくお読みになり、記載された使用方法、注意事項等を厳守してください。